

湯川 17年間のブラクについて中国は出るにしたら出る理由をいうだろう。多岐にわたるが、
小此木 出席する理由は 政策の転換の可能性、周恩来が高級キッシンジャーの意味で送りこむ。
豊田氏の草稿は、よびのし趣意書なのか基礎報告なのかどちらかにはつくりだせて置く。
日本ではその意義

- 1) 日本が最初の唯一の被爆国である
- 2) 平和憲法が世界平和でもテコとなる。
- 3) 原子力三原則、これと企業秘密と公害の問題にも考慮をい。
- 4) 小国の人々が熱心に議論するテーマ (例えば 科学交流のやり方)
- 5) 社会主義国における科学者の役割 (社会主義国の現在の欠陥とそれをいかに除去するか)

山田 特徴があるが 普遍的意味をもつことが必要。Pugwashに参加して批判的にみていたが、
• 原爆の原点、平和憲法、それにアジアということでベトナム戦争など、個々の事実とい
うことではなく、核軍備が世界の政治をどう動かしているか (例えば 米国における政治の
民衆はなれ: ベトナム戦争介入のあと Justify。ボタン押戦争は議会の承認なしで行なわ
れる。核兵器なしの核戦争) こうした分析が必要。平和憲法はこういう時代におけるも
のとしてとらえらる。米ソの決闘が動いているが、中、仏でも持ちはじめた核にふりまわさ
れる。
• 小国からは人々をどうと何をやっているかわからなくなる。経済の実務官僚が来て大争はとの
抜けた議論 (オーストラリア会議) とする。
• 中東 (核体制下での) の動きに奇妙なものを感じる。Pax Russo-Americana がここでも動
いたが 多国籍企業の問題など 世界に暗雲として残る。
Social Function of Science の検討が重要である。

大槻 広島の意見に近い。
1) 核戦争が手段に変わり、これによってふりまわされている。平和 ^{核に対するわれわれの責任} 憲法と合わせて formulate
する必要が。ある。
2) 小国の問題... Localな文化、自主的文化が育つ条件は何か。大国の戦争、経済支配
とこえて、これを科学のちから extend して考える。

田中 核のもつてい意味が変化している。日本の若い人の核の受けとり方も変化している。ベトナム
戦争も核だけでなくボタン押し戦争も。核が直接民衆に対して影響を積極
的に考えて、これを resistance に役立たせる。
科学が权威を落し、最近の若い人は科学は本来体制化しているにみている。こうした
ところに影響力、説得力のある科学の力をもつていく必要がある。

< 最後の討論 >

湯川 核軍備の影響の研究分析が大切である。
朝永 政治の民衆はなれ、米ソにホットラインがあっても 民衆とのラインはない。
豊田 核戦争体制は 極端に管理された体制である。米は大統領に 絶対権限、ソ連
は民主化されて時間がかかる。ソ連の方が核防止協定を切らした。
ニクソンが居すわられるのは、核戦争体制が関連している。キッシンジャーが生れる条件
もある。

松本 科学の front line にいる人達が かつての原水爆禁止運動のように狭き道にたがわれなくて、
社会的責任を考える状況をつくり出す。JASONにかかわった人達が、逆に、真の社
会的責任を深く考えて、若い研究者に影響をもちようにならねばよ...
75年以降の四半世紀は 生命、生物科学が原水爆と同じような影響力をも
つことになるのではないかと、その方面の人の寄与がいろいろあるのか。

3
よに思われる。会議にて。

湯川 物理以外では運動に参加された方は、^{よに思われる。会議にて。} 学界への影響は少ないが、直接語りあがることで参加していたことはあった。

山田 平和研連(JSC)が JSC 総会の前日シンポジウムを行った。テーマは「生物学思想における戦争と平和の問題」。戦争 = 生存本能と適者生存 (Darwinism)。生物関係の人の発言 (モノガシ) が最近、思想界に社会に影響している。

小川 ^{この日の Pugwash 会議}
放射線障害で Rotblat, 三宅氏など橋渡しして下さる人が活躍された。配慮するに同感である。

安野 ベトナムからアラブへの動きの中で、核兵器体系を前提とした動きがでてくる。廃絶は古い課題でなく新しい課題である。

沢田 生態系全体がかわられようとしているとき、あらためて科学の社会的機能と存在の必要性。科学者の平和の発言が民衆の運動を力づけるのに寄与し、核兵器を使用させないでベトナム戦争終結への力となった。「正しく人民がつくる」時代になって、科学者がこれに訴えるものを作つていく必要がある。草案は政治家の仕事になっていく。科学者の社会的責任の自覚はいろいろな分野に年々増大している。今年の世界科連総会の前のシンポジウムのテーマが「社会と科学者」で興味ある報告が行われたと聞いている。(成果の悪用 - 全面否定が若い世代に浸透している - これに科学者がどう答えていくか)。科学の社会的機能について、現時点での経験 (核問題, JASON) をもとに作りあげていく必要がある。

高木 1) 核兵器体系があまりにも定着してきているので逆に認識されたいという面がある。本当に核戦争の ^{clear cut} clear cut できるのか。政治をゆめぬ問題には取りこぼさず存在しているのか。

核兵器をもつ力と大國から取り去っても大國としてのものが残るのか。
2) 科学の社会的機能: いろいろな factor が入るので detail にわたって個別化と総合化 (第2回京都会議 (竹原) の久野氏の報告)。人間の活動と生態系とのつながりなど科学だけではしる...
成果の悪用は古くからいわれているが、科学の進め方の間違つた面 - 科学の特利化 - の問題もある。この点小國と意見が一致できるか。

豊田 まとめてみると:
1) 野上氏がのべられた「基礎科学論」にふれ議論をさらにつめることが課題となる。成果の悪用だけでなく、科学の進め方に対する分析 (高木)、科学交流のあり方、社会主義国の科学者の立場 (小北) も関係してくる。

2) 核兵器問題: 唯一の被爆国で開かれる。核兵器体系が国際政治を動かして来たことはわかるが、核戦争の危機を clear cut にできるか。積み重ねと論理的に整理していく。原子力三原則を企業秘密までも含むことに拡張する課題。

小川 声明案 (たたき台) について説明する。
いろいろな国から来るので共通に認識できることに限定した。
科学者が言わなければならないことと、国際政治の分析は勉強は大勢だが大方の同意をうけることに留意した。
日本は第2次大戦で被害者になったがこれを無視して平和憲法を礼讃せよといつてものではない。

フランスの打倒で原爆が開発されたが、核戦争の新しい矛盾を生んだ。核武装にすすむことは問題である。中国をよか存していることを決山書いたが核に対峙すべき

しなればなるほど中国が柔しくなる。

湯川... 基礎科学論と技術の問題。生命科学では物理と異例、基礎的ものを実現可能なものに密着している。実験してることと実現できることがほとんど同じであれば、はつりした立場をとりにくくわり切れない。しかしこの問題をやらなくとも基礎科学論になる。小国は度心がなにかも知れないが、先進国はやりだしたらそへいので準備しておくべきだ。

核問題。核戦争の estimation は出来ない。ある時期には大い危険になったが、世界一般の人には確率が大きくなったことはわからない。危機があることを納得させるのは困難で、核準備があるそれがさらに進んでいることがもつ影響力を分析していくことが重要である。

二年先を考えると、小国、大国、超大国の度係は相当異なる。それを考慮に入れて検討する必要がある。

大上投にふりかぶれない問題があるが、最初の唯一の被爆国としての立場、平和憲法について国内の問題も考慮しておくべきだ。(あやまるべきことはあやまるべきだが) 国外からも肯定することの影響力は大きい。

多国籍企業などの経済問題は何もやらなくてよいが、国際政治の問題も個々の問題に立入らなくてよいが勉強しておくべきではない。予想外のことがあると考慮しておく必要がある。

朝永
野上

基礎科学論とは、
科学の否定的側面、社会主義国での科学者のあり方、反科学的風潮など研究することは一体どういうことかという点。

豊田

「出しもの」と「役者」、基礎科学をやった二人に「千両役者」としてやっていくと迫力があり、影響あるものが生まれるだろうという人だ。

朝永

もうかし魂胆玉筒く、日本は後進国で理論科学は金がかからず、基礎科学はオリに悪用されないということで基礎科学を大いにやれということか。

豊田

科学そのものの本質にふれた問題。

朝永

Opening address で湯川氏におねがいは有意義だが、agenda に入れては、科学者の共通テーマとして面白いが、小国からの人によるが条件のつきやすく役立つものを求める傾向があり、高踏的に感じられてもつ。基礎科学を拓いて農学などを含むようにしては、UNESCO でも耐震建築、Electronics など評判がよい。

核兵器体系が発動するかどうかは別として、その存在が予備ともたらしていることと未来でなくとも過去の経験事実から客観的に引出すことにより、核抑止論の破綻を明らかにする。

物理では基礎科学と技術は分化しているが JASON の様なこともある。分けられることが安心な点でもあり不安な点でもある。

倫理や道義をもつていない科学、価値体系をもつていない科学がやれるか、かたして生物あたりでは考慮するべきな面がある。例として「医者の倫理問題」など、臨床と基礎科学の分化との関連でも同様。

湯川

倫理原則の最小限度 (Einstein の意見、...) の同意を得られるのではないか。

豊田

平和学会は米国帰りの行動科学の研究者が motive force。純粋にアカデミックであると称して、定款をつくらず単独の機関所属を除くことに、~~学会~~ ~~の~~ ~~将来~~ ~~は~~ ~~多くの~~ ~~困難~~ ~~を抱~~ ~~えている~~ ~~ように~~ ~~思~~ ~~われる~~。

湯川

関氏のような人を、そのような情勢だと backup しては、
(~~対~~ ~~人~~ ~~の~~ ~~あり~~ ~~方~~)
関氏が現軍備中している感じ。

(文責 湯川、朝永、豊田)

スケジュール

1973年 11月
 12 1回準備会(15日)
 10~14日 Feld 卒日. 11日京都で

1974
 1 募金委員会発足(6~10名), 東山荘予約
 2 2回準備会(下旬)
 3
 4
 5
 6
 7 (中国訪問)
 8] 28日
 9 ~2日 オーストリア・パグワッシュ.
 10
 11
 12

1975
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9 御般場会議(東山荘)50人

- 出席者~50名規模 (JASONメンバーを除く.)
 できれば50人以内
 hospitalityは日本でもつ.
 大きい国からは旅費自己負担
 小国の出席してほしい人 (採しよて.
 旅費はあるて負担)
- 募金 ~1000万円.
 募金委員会 6~10人
 JSC会長のほか, これまで京都会議に出
 席して事情のわかっている人の中から三役に
 一任して人選.
- 趣意書案.
 学振...茅氏.
- テーマ毎の研修活動
 { 基礎科学論 } 次回準備会で.
 { 核兵器論.
- 中国問題の必読文献リスト.
- オーストリア・パグワッシュには代表を送る.
- 国内シンポジウム(プレシンポ)を南く. sub-
 mitted papers.
- 12月11日 p.m. 2:00~ Feld & small meeting.
- Cable address: ¥100/month
 PUGWASH=NAGOYA
- 岩波から40万円前借り.
 Domestic symposium → 新書.
 会議のあとで 東京 and/or 京都で一般
 講演会, 翻訳出版.